

# かけはし

会報 95 号 発行:特定非営利活動法人全国LD親の会 発行人:井上 育世  
 事務局:〒 151-0053 東京都渋谷区代々木 2-26-5 バロール代々木 415  
 TEL/FAX:03-6276-8985 E-MAIL:jimukyoku@jpald.net URL:<http://www.jpald.net/>



## 第 21 回公開フォーラムのご案内

第 21 回全国 LD 親の会公開フォーラムを下記の日程で開催いたします。会員の申込みについては、別途各会宛にメールでご案内しました。一般の方は「こくちーずプロ」からお申込みください。会員であっても、「こくちーずプロ」から申込みすると、一般参加費となりますので、ご注意ください。

### ●第 21 回全国 LD 親の会公開フォーラム 「発達障害のある人の教育から就業への移行 ~コロナ禍における変化~」

コロナ禍において、発達障害者のキャリア教育や就労に向けての支援に変化が生じています。全国 LD 親の会調査報告と併せて、関係機関の役割や連携など、参加者と共に考えたいと思います。

開催形式 : Zoom ウェビナーによる

ライブ配信 + オンデマンド配信

ライブ配信 : 2022 年 11 月 13 日(日) 14:50~16:10

パネルディスカッションを所定時間に配信

オンデマンド配信 : 2022 年 11 月 9 日(水)

~11 月 23 日(祝・水)

基調講演・調査報告・ミニ講演を期間中に配信

ライブ配信会場 : さいたま市浦和コミュニティセンター

参加費 : 会員 1,000 円 一般 1,500 円

共 催 : 埼玉親の会「麦」、

茨城 LD 等発達障害親の会 星の子

※ 11 月 13 日は、会場から全てのプログラム(基調講演・調査報告・ミニ講演・パネルディスカッション)を所定時間に配信します。基調講演・調査報告・ミニ講演は、13 日所定時間に視聴しなくとも、期間中ならいつでもオンデマンドで視聴することができます。ただし、パネルディスカッションは、13 日ライブ配信のみです。当日見逃すと録画で見ることが叶いません。ご了承ください。

### 11 月 13 日の配信プログラム

10:20 開演挨拶

10:30 基調講演 録画配信

「発達障がいのある人の教育から就業への移行  
 ~今からできることを考える~」

田村恭子氏

(独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構  
 埼玉支部 埼玉障害者職業センター)

12:00 昼休憩

12:30 調査報告 録画配信

「コロナで生じた教育から就業への状況変化」

井上育世

(特定非営利活動法人全国 LD 親の会理事長)

13:00 ミニ講演 A 録画配信

「変化を乗り越える就労準備を考える」

朝日雅也氏

(埼玉県立大学保健医療福祉学部教授)

13:30 ミニ講演 B 録画配信

「変化を越えた事業主支援」

河崎誠司氏 (特定非営利活動法人サンライズ、  
 埼玉県障害者雇用総合サポートセンター)

14:00 ミニ講演 C 録画配信

「保護者の私が就労支援事業に取り組んでみえたこと」

吉田美恵氏 (就労支援事業所カフェベルガ、  
 茨城 LD 等発達障害親の会 星の子)

14:30 休憩

14:50 パネルディスカッション ライブ配信

「コロナで生じた就労状況の変化」

パネリスト:ミニ講演講師 3 名 進行:井上育世

16:10 終演挨拶 閉会

詳細は、下記全国 LD 親の会ホームページよりチラシにてご確認ください。

[https://www.jpald.net/pdf/forum\\_21.pdf](https://www.jpald.net/pdf/forum_21.pdf)

子育て中の親はもちろん、療育に関わる人、学校の先生など子どもに関わる人へ！！

## 発達が気になる子の子育てモヤモヤ解消ヒントブック 親の会30年の経験から

### 社会の中で生きるちから編 2022年12月発行予定

「発達が気になる子の子育てモヤモヤ解消ヒントブック」は、全国LD親の会の会員から、子育て中の困りごとや悩みのエピソードや工夫したことを集め、現在子育て中の方が自分らしく子育てしていく上で参考になりそうなことを、テーマ別にまとめています。「こうすれば良かった」「もっと他に対応の仕方があった」といった反省点も含め、会員の体験談をたくさん掲載しています。

「社会の中で生きるちから編」は、子どもが自らの力で自分の人生を歩んでいくってほしいという親の願いをテーマにして、子どもが大きく成長したできごとや成長に結びつけられたのではないかと思うエピソードをまとめてみました。

#### もくじ（案）

##### 第1章 社会と関わる第一歩～散歩や外遊びを楽しむために～

- 1. 外出などを怖がる 2. 疲れやすい 3. こだわる場所から離れない 4. 動き回って目が離せない  
5. ひとりで同じ遊びをする 6. 動きがぎこちなく危ない

コラム:感覚の発達

##### 第2章 社会を学ぶ第一歩～子ども連れの外出から～

- 1. 外食を楽しむ 2. 家族旅行を楽しむ 3. 子ども向けの施設やプログラムを楽しむ  
4. 子ども連れて買い物をするとき 5. 医療機関等に行くとき 6. 公共交通機関を利用するとき  
7. 迷子への対応 8. けがや事故にあわないように

コラム:子どもと一緒に出かけ準備

##### 第3章 自立への第一歩～親と離れて出かけるとき～

- 1. おつかい 2. 子どものひとり行動 3. 通学など 4. 親と離れての宿泊  
5. ひとりで出かけたときのアクシデント 6. 子ども同士で出かけたときのアクシデント

コラム:精神的自立

##### 第4章 趣味を持つ～豊かな人生のために～

- 1. 本人が好きなこと 2. 親子で楽しむ 3. 仲間ができる 4. 好きなことから興味が広がる 5. つらい時の支え  
コラム:趣味と依存の違い

##### 第5章 主体性をはぐくむ

- 1. ものごとに興味・関心を持つ 2. 夢や期待感を持つ 3. 試行錯誤を重ねる 4. 自自分で決める経験  
5. 周囲の意見を聞けるように 6. 自分から行動する

コラム:コーチング

##### 第6章 七転び八起き

- 1. 気持ちを前向きに切り替える 2. 自分に自信を持てるように 3. 前に進む方法をみつける  
4. サポートを求める 5. 子どもの意欲が落ちてしまった時 6. 視野を広げる

コラム:失敗は成功のもと

発売予定や既刊書籍のご購入は、  
かもがわ出版のHPをご覧ください。

<http://www.kamogawa.co.jp/index.html>



## 一般社団法人 日本LD学会第31回大会のご案内

日 時:2022年10月29日(土)~30日(日)

会 場:京都国際会館+Web

大会テーマ:「子ども達のWell-Beingを育む

—こころ、からだ、まなびー

開催:国立大学法人京都教育大学

大会会長:相澤雅文氏(国立大学法人京都教育大学)

Well-Being(ウェルビーイング)は、「健康」「幸福」という意味です。世界保健機関憲章には、「健康とは、病気でないとか、弱っていないということではなく、肉体的にも、精神的にも、そして社会的にも、すべてが満たされた状態にあること」と書かれています。今年度の日本LD学会大会では、Well-Beingを視座として、子ども達のより良い成長のありかたがテーマになっています。

親の会シンポジウムも、Well-Beingに沿って企画してみました。

◆ 親の会企画シンポジウム ◆

日 時:2022年10月29日(土) 10:00~12:00

事後オーデマンド配信あり

会 場:第2会場 RoomA (2F)

テーマ:「自己肯定感をはぐくむ

～子どもと親が育ち合っていくために～」

話題提供1 水田めぐみ氏

(大阪医科薬科大学LDセンター)

話題提供2 今村佐智子氏

(一般社団法人発達支援ルームまなび)

話題提供3 清水政子氏 (兵庫LD親の会たつの子)

指定討論 後野文雄氏

(国立舞鶴工業高等専門学校)

司 会 井上育世

## 一般社団法人 日本発達障害ネットワーク (JDDnet) より

### ○第18回年次大会のお知らせ

日 時:12月4日(日)13:00~17:00 オンライン開催

テーマ:「発達障害を捉え直す—発達障害と知的障害の概念整理は、福祉/教育/雇用等の現場をどのように変える?」 詳細は決定次第、お知らせします。

### ○JDDnet理事が様々な委員会に参加しています

(1)厚労省 障害児支援に関する検討会

(内山登紀夫副理事長、井上雅彦理事 参加)

(2)内閣府 障害者政策委員会

(大塚晃副理事長 参加)

8月の障害者権利条約の国連の対日審査にて勧告された内容 ①特別支援教育の廃止 ②精神障害者の地域移行 ③障害者(知的・発達を含む)の地域移行、施設の廃止などについて意見募集中です。

(3)厚労省 強度行動障害者への地域支援に関する検討会(市川宏伸理事長、井上雅彦理事、松上利男理事、日詰正文事務局長参加)

10月から開始されます。



## 全国特別支援教育推進連盟 より

### ・令和5年度向け予算要望書提出

7月4日、文部科学省・厚生労働省へ要望書を提出。

文部科学省への提出の際、12団体が懇談。

### ・令和4年度「要覧」の発行

加盟団体及び関係機関等へ2,000部配布

### ・第44回全国特別支援教育振興協議会

日時:令和4年12月2日(金)9:00~15:45

開催場所:南大塚ホール(南大塚地域文化創造館)

参加申込:130名程度(加盟団体を通じて事前申込)

主題:インクルーシブ教育システムの充実について

～ICT教育、交流及び共同学習～

【午前の部】10:00~12:30

○行政説明 文部科学省・厚生労働省

○1部「ICT教育の充実に向けて」

講演 特別支援教育におけるICT教育の現状と課題

講演 ICT機器の授業への活用

【午後の部】13:30~15:45

○事業説明 国立特別支援教育総合研究所

○2部「交流及び共同学習の充実に向けて」

シンポジウム 令和3年度文部科学省委託事業報告

「特別支援学校に在籍する児童生徒の居住地とのつながりに関する調査研究」

## オンライン行政勉強会 開催しました

### 第1回 「障害者年金・障害者手帳について」

講師: 日詰正文先生 (JDDnet 事務局長／元・厚生労働省  
発達障害対策専門官)

7月10日(日) オンラインにて行政勉強会を開催し、65名の方にご参加いただきました。日詰先生より、障害者年金・障害者手帳の制度について、基本的なことから丁寧に分かりやすく説明していただきました。障害者年金・精神保健福祉手帳の申請には、「初診日の証明」と「病歴・就労状況等申立書」の記述(どのくらい支援が必要なのか)が重要で、病院のカルテも5年しか保存されないため、幼少期からの記録をきちんと残しておく事が大切とのことでした。また、「未診断で支援に繋がっていない成人の方が多いのが現状で、高齢期の孤立を防ぐために、健康管理や福祉サービス・支援を使う経験をしておくことが大切」「情報交換や相談など仲間で支え合う活動が重要」とのお話が心に響きました。

#### < 参加者からのご意見・感想 >

- 基本的な仕組みや制度について理解が深められ、日常生活、社会生活等でいかに支援が必要かを書類上に記載することが大切なのだということがよく分かりました。
- 手帳の所持によって災害時などに配慮してもらいやすくなるというお話は為になりました。日常だけでなく、非常時のことも考えて手帳は必要なものだと思うようになりました。

### 第2回 「合理的配慮と授業のユニバーサルデザイン」

講師: 笹森洋樹先生 (独立行政法人 国立特別支援教育  
総合研究所 発達障害教育推進センター センター長)

9月11日(日) Zoomによる行政勉強会を行い、63名が参加しました。笹森先生より、インクルーシブ教育と合理的配慮等について分かりやすくお話しいただきました。事前に提出された質問や当日チャットによる多くの質問に、定刻の1分前まで先生がお答えいただくほど大盛況でした。率直かつ愛情をもってお答えいただいた笹森先生に感謝いたします。

#### < 参加者からのご意見・感想 >

- 支援について保護者と先生だけで話し合われたり、学校でも、本人に聞かず配慮を決めていく傾向が強いように感じます。そもそも小さい頃から「自分はどうしたいか」を聞かれる経験が少なく、自分の願いを話せるような積み重ね(教育)が日本の教育にも必要だと思います。

#### < 今後の予定 >

##### 第3回 11月27日(日) 時間未定 日詰先生

「放課後デイサービスの質的向上について・  
不登校について(仮題)」

##### 第4回 1月22日(日) 時間未定 笹森先生

「自閉症・情緒障害特別支援学級と通級による  
指導」

## オンライン役員交流会 開催しました

多くの親の会がコロナ禍により活動休止になったり、対面の活動が難しい等、どう活動を継続していくか苦慮しています。そこで、全国各地の役員さんが活動について、相談や情報交換できる「オンライン役員交流会」を新たに設けました。活動のアイディアや各会共通の課題について、ざっくばらんにお話しできればと期待しています。

8月27日 オンラインにて「第1回役員交流会」を開催しました。キックオフミーティングとして、第1部(13:00～)・第2部(19:00～)の2部制で開催し、各会より第1部21名・第2部23名の参加がありました。

自己紹介の後、各会の活動状況や子どものことなどについてざっくばらんに話し合いました。会によって、役員体制や運営のしかたも違い、様々な工夫をされていることが良く分かりました。

各会共通して「役員のなり手がない」との悩みが出ましたが、「複数人で担当する体制にして、気楽に引き受けられるようにしている」「後任の人に1～2年かけて引き継いでいる」「持ち回り・当番制にしている」「会員さんに自主的に企画運営してもらっている」など、様々な取り組みを共有することができました。

今後も定期的(偶数月)に開催していく予定で、第2回役員交流会は、10月22日(土)19:00から開催いたします。回を重ねるごとに交流を深めていきたいと思います。

また、日常的に全国各地の役員さんが相談や情報交換ができるように、「チームルーム」というアプリを利用した掲示板も開設しました。(登録方法等、詳細は各会にお知らせしていますので、ぜひご登録ください。)

## 2022年度 全国会員子どもの構成調査 (正会員37団体中36団体の集計)

## &lt;総括表&gt;

区分	人 数					男女比	
	男	女	合計	区分比率	前年比	男	女
未就学	12	4	16	0.9%	-11.1%	75.0%	25.0%
小学校	133	33	166	9.1%	-20.6%	80.1%	19.9%
中学校	163	34	197	10.7%	-15.1%	82.7%	17.3%
高校相当	158	43	201	11.0%	-27.2%	78.6%	21.4%
高卒相当	985	268	1,253	68.4%	-5.1%	78.6%	21.4%
合計	1,451	382	1,833	100.0%	-10.8%	79.2%	20.8%

## &lt;小学校&gt;

区分	男	女	計
小1	5	2	7
小2	9	2	11
小3	22	8	30
小4	28	5	33
小5	31	9	40
小6	38	7	45
計	133	33	166

## &lt;小学校&gt;

種別	人数	比率	前年対比
普通級(通級利用無し)	53	31.9%	-18.5%
普通級(通級利用有り)	40	24.1%	-29.8%
特別支援学級	60	36.1%	-22.1%
特別支援学校	7	4.2%	+16.7%
その他・不明	6	3.6%	+50.0%
計	166	100.0%	-20.6%

## &lt;中学校&gt;

区分	男	女	計
中1	43	9	52
中2	49	16	65
中3	70	9	79
その他	1	0	1
計	163	34	197

## &lt;中学校&gt;

種別	人数	比率	前年対比
普通級(通級利用無し)	79	40.1%	-13.2%
普通級(通級利用有り)	18	9.1%	-28.0%
特別支援学級	79	40.1%	-14.1%
特別支援学校	9	4.6%	-18.2%
フリースクール等	5	2.5%	+25.0%
その他	2	1.0%	+100.0%
不明	5	2.5%	-37.5%
計	197	100.0%	-15.1%

## &lt;高校相当&gt;

区分	男	女	計
高1(高専1年)	37	9	46
高2(高専2年)	52	14	66
高3(高専3年)	50	11	61
単位制高校	16	6	22
その他	3	2	5
就労・在宅等	0	1	1
高校相当計	158	43	201

## &lt;高校卒業相当以上&gt;

区分	男	女	計
大学・短大	106	21	127
高等専門学校4年～	6	1	7
特別支援学校専攻科	4	1	5
専門学校	35	8	43
就労(一般)(月80h以上)	178	33	211
就労(障害枠)(月80h以上)	320	55	375
パート(一般)(月80h未満)	19	17	36
パート(障害枠)(月80h未満)	10	13	23
職業訓練校・委託訓練	6	7	13
就労移行支援	35	17	52
就労継続支援 A型	27	13	40
就労継続支援 B型	79	29	108
地域活動支援センター	15	4	19
その他(自由業者・内職等)	34	6	40
無職(失業中・主婦等)	83	32	115
不明(記入無し)	28	11	39
高校卒業相当計	985	268	1,253

※ 「その他」中1名は高校在学中



## &lt;高校生の状況&gt;

	単位制以外						単位制高校						人数 計	人数 比率		
	国・公立			私立			国・公立			私立						
	全日 制	定時 制	通信 制													
普通科	33	2	1	44	1	21	2	7	1	3	1	21	137	67.8%		
専門学科 (商業・工業・農業等)	7	3	0	4	0	0	1	0	0	1	0	1	17	8.4%		
総合学科	2	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	4	2.0%		
高等専門学校 (1~3年)	3			1									4	2.0%		
高等特別支援学校・ 特別支援学校高等部	12	0	0	0	0	0							12	5.9%		
高等専修学校	0	0	0	10	1	2							13	6.4%		
専門学校	0	0	0	1	0	0							1	0.5%		
フリースクール													0	0.0%		
その他													2	1.0%		
不明													12	5.9%		
計	57	6	1	60	2	23	4	7	1	4	1	22	202	100.0%		

	人数	比率
国・公立	76	40.4%
私立	112	59.6%

	人数	比率
単位制以外	149	79.3%
単位制	39	20.7%

	人数	比率
全日制	125	66.5%
定時制	16	8.5%
通信制	47	25.0%

## Webアンケート「保護者から見たGIGAスクール～1人1台端末等の活用状況調査～」

7月から実施した「教育から就業への移行に関する新型コロナの影響」のWebアンケートにご協力いただき、誠にありがとうございました。10月末までこのアンケートを続けますので、対象の方は引き続き、ご協力のほどよろしくお願いいたします。アンケートの結果は、全国LD親の会公開フォーラムでも報告させていただきます。

11月7日より、新たに「保護者から見たGIGAスクール～1人1台端末等の活用状況調査～」のWebアンケートを始めます。対象は小・中・高校生をお持ちの保護者(会員)です。内容は「タブレットやパソコン等の端末を使用した教育、いわゆるGIGAスクール構想が家庭でどのように行われているか」について調査します。

アンケートは11月7日から約3か月間Webで行います。対象となる方には所属会を通じてアンケート用のURLをお知らせしますので、ご協力をお願いいたします。なお、アンケートの結果は、2023年度の文部科学省への要望に反映させるとともに、各方面とリンクさせ幅広く活用していきます。ご協力のほどよろしくお願いいたします。

内閣府「障害者の差別解消に向けた理解促進ポータルサイト」のご紹介  
—「合理的配慮」を知っていますか—

URL : <https://shougaisha-sabetukaishou.go.jp/>

このサイトは、企業や店舗などの事業者等が障害のある人に対して行う「合理的配慮の提供」や「不当な差別的取扱いの禁止」など、障害者差別解消法により定められている事項について理解していただくためのサイトです。

◆周知啓発チラシ「ご存じですか？障害者差別解消のための法律があることを」

URL:[https://www8.cao.go.jp/shougai/suishin/sabekai\\_chirashi.html](https://www8.cao.go.jp/shougai/suishin/sabekai_chirashi.html)

## 令和5年度予算要望書を提出しました

令和5年度予算編成について、5月10日付で要望書を文部科学大臣・厚生労働大臣あてに提出しました。

### 令和5年度 文部科学省関係予算要望事項

#### ＜重点要望事項＞

1. ICT活用による個別最適な学びの保障
  - ・GIGAスクール構想において、読み書き障害のある発達障害の子どもに対し、通常学級においても子どもの特性に応じ、読み上げ機能等を積極的に活用すること
2. 共生社会に向けて、障害への理解啓発と適切な指導の推進
  - ・すべての教員に対し、障害理解・子どもの人権・共生社会の理念についての研修を実施すること
3. 家庭と教育と福祉の連携「トライアングルプロジェクト」の推進

#### ＜その他の要望事項＞

1. 通常の学級における学級規模を小さくして指導の充実を促進すること
2. 合理的配慮を確保しつつ、インクルーシブ教育システムの充実の推進を図ること
  - ・すべての教職員に対し、特別支援教育および合理的配慮についての理解を促進すること
3. 切れ目のない支援体制整備の一層の推進と指導の充実をはかること
  - ・個別の教育支援計画・個別の指導計画の活用・丁寧な引継ぎ・保護者との共有を一層、推進すること
4. GIGAスクール構想によるICT機器の整備を進め、誰一人取り残すことのない、公正に個別最適化された学びを確立すること
  - ・学習上の困難を軽減するための、支援機器等教材の開発を促進すること
  - ・教科書デジタルデータの活用・音声教材等の普及を促進すること
5. キャリア教育は本人の特性を考慮し、適切な指導を行うこと
6. 発達障害の特性に応じた緊急時の支援対策を整備・周知すること

### 令和5年度 厚生労働省関係予算要望事項

#### 【厚生関係】

#### ＜重点要望事項＞

1. 発達障害者支援センターの増設および職員を増員すること
2. 乳幼児から成人まで切れ目なく発達障害に対応できる医療機関を拡充すること

#### ＜その他の要望事項＞

1. 身近な地域での発達障害児者およびその家族に対する支援を推進すること
- ・学校と支援機関が連携し、個別の教育支援計画・個別の指導計画の活用・丁寧な引継ぎ・保護者との共有を一層、推進すること
2. 発達障害者に対する情報支援体制の整備を拡充すること
3. 感覚過敏等により、公共交通機関の利用が困難な発達障害者に対する外出支援を構築すること
4. 発達障害の特性に応じた緊急時の支援対策の整備・周知

#### 【労働関係】

#### ＜重点要望事項＞

1. 発達障害者の雇用を促進すること
- ・地域障害者職業センターにおける職場適応援助者(ジョブコーチ)の増員と研修の強化を図ること
- ・障害者試行雇用(トライアル雇用)事業を拡充・促進すること
- ・発達障害者の能力を正しく評価し、それに見合った報酬が得られるような雇用体制確立を指導すること

#### ＜その他の要望事項＞

1. 繼続して働き続けるための支援を充実すること
  - ・ジョブコーチ、障害者就業・生活支援センターによる職場定着支援およびリワーク支援を強化すること
2. 発達障害者に対する相談体制の整備と多様かつ効果的な職業訓練、職場実習制度を充実すること
  - ・ハローワークにおける合理的配慮(よりきめ細かな就労支援・職場定着支援)の実施を進めること
3. 公的機関における発達障害者の雇用を促進すること
  - ・公的機関における発達障害のある人のチャレンジ雇用を推進すること
4. 雇用・就業関係機関職員や事業所に対する発達障害の研修を充実すること
  - ・ハローワークの職員に対する研修を充実させること
  - ・障害者就労支援機関・若年者就業支援機関の職員に対する研修を充実させること
  - ・事業所に対する発達障害者の雇用管理のノウハウの普及啓発を図ること
5. 障害者就業・生活支援センター事業を拡充すること
  - ・障害者就業・生活支援センターの増設、職員の増員(生活支援ワーカーの増員)を図ること
  - ・職員の発達障害に対する研修を充実させること

## ◆寄付のお願い「全国LD親の会をご支援ください」

NPO法人全国LD親の会は、LDなど発達障害の理解啓発や研究事業、本人・家族への支援事業に取り組んでいます。活動をより充実させるため、ご支援のほどお願いいたします。

振込先：郵便振替口座：00120-3-52748 特定非営利活動法人全国LD親の会  
通信欄に「寄付」とご記入下さい。

## ◆ 入会案内 会員募集！機関紙かけはし・メールにて情報提供・ブロック活動へ参加できます。

正会員団体	各地で活動しているLD等の親の会で、全国LD親の会の活動目的に賛同する団体
準会員団体	LD等の親の会で、将来、正会員団体としての入会を目指す団体
個人準会員	全国LD親の会の正会員団体がない県に居住する、発達障害の子どもの保護者の方
賛助会員	全国LD親の会の活動をサポートしていただける個人ないし団体 賛助会員も、講座やフォーラムに会員価格で参加できます。 (賛助会員の年会費は、個人3,000円・団体5,000円です。)

詳しくはHPをご覧ください(QRコードから入会案内のページがご覧いただけます)



### ● ご寄付 ありがとうございました

株式会社健康サプリ研究所 代表取締役 千葉雅弘様 3万円・愛知県会員 M・K様

### ● NPO法人全国LD親の会 活動報告

4月12日 かけはし94号発行 4月29日 2021年度事業監査 5月05日 第49回理事会

5月10日 文部科学省・厚生労働省宛に2023年度予算要望書提出

5月13日/23日 全国特別支援教育推進連盟第1回常任理事会/第1回理事会(オンライン)

5月27日 全国障害者協議会第11回総会

6月12日 第15回全国LD親の会総会・第34回評議員会・第50回理事会

6月19日 JDDnet理事会・第12回代議員総会

6月24日/7月08日 全国特別支援教育推進連盟第2回常任理事会/第2回理事会(オンライン)

7月10日 第1回会員向け行政勉強会

7月17日～「発達障害のある人の教育から就業への移行に関する新型コロナの影響」会員Webアンケート

8月17日～ 特別支援教育支援員養成ビデオ講座

9月11日 第2回会員向け行政勉強会



### ● NPO法人全国LD親の会 第15回総会報告

日時：2022年6月12日(土) 10:00-12:00 場所：さいたま市宇宙劇場 研修室

総数37加盟団体中、代表者出席1団体、議決権行使28団体、委任状提出7団体、欠席1団体

第1号議案～第4号議案のすべての議案が満場一致をもって異議なく承認されました。

【審議事項】 第1号議案 2021年度事業報告 第2号議案 2021年度決算報告および監査報告

第3号議案 2022年度役員選任 第4号議案 定款の一部改訂

### ● 第49回理事会報告

理事会の決議があつたとみなされた日時：2022年5月5日 13:00-13:16 開催場所：電磁的記録によるもの

[決議] (1)2022年度活動方針及び予算案 (2)第15回通常総会に付議する議案 (1)(2)ともに全員一致で承認した。

### ● 第50回理事会報告

理事会の決議があつたとみなされた日時：2022年6月12日 16:00-16:56 開催場所：電磁的記録によるもの

[決議] 第34回評議員会における審議結果を審議し、全員一致でこれを承認した。

### ● 第51回理事会報告

日時：2022年9月2日 19:30-19:40 開催場所：理事長宅

[決議] 運営規則改訂について審議し、全員一致でこれを承認した。